

平成 2 2 年度事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

学校法人 上田学園

1. 法人の概要

(1) 設置する幼稚園（平成23年3月31日現在）

- ・ 高坂幼稚園
- ・ 香久山幼稚園

(2) 当該幼稚園の入園定員、園児数の状況

- ・ 高坂幼稚園

年次	組	定員	H22・5・1現在	H23・3月現在
年少	ふじ	130人	23人	24人
	うめ		23人	24人
	もも		23人	24人
	ばら		23人	23人
	さくら		24人	24人
	たんぽぽ		23人	24人
年中	さつき	155人	34人	34人
	たけ		35人	34人
	ゆり		35人	35人
	ひまわり		34人	35人
年長	きり	155人	31人	31人
	すみれ		32人	32人
	つばき		32人	32人
	きく		32人	32人
合計		440人	404人	408人

- ・ 香久山幼稚園

年次	組	定員	H22・5・1現在	H23・3月現在
年少	きりん	69人	24人	25人
	ぞう		25人	25人
	うさぎ		25人	25人
年中	ばら	70人	35人	35人
	すみれ		35人	35人
年長	ほし	70人	30人	28人
	にじ		30人	30人
	つき		30人	30人
合計		209人	234人	233人

(3) 役員、教員及び職員の状況(平成23年3月31日現在)

・ 役員

役員名	定員	現員	任期
理事	6人	6人	4年
監事	2人	2人	4年
評議員	13人	13人	4年

・ 教員

	園長	教頭	教諭	助教諭	その他	合計
高坂幼稚園	1人		18人			19人
香久山幼稚園	1人		9人			10人
合計	2人		32人			34人

・ 職員

	事務職員	用務員	運転手	その他	合計
高坂幼稚園	2人		2人		4人
香久山幼稚園	1人		2人		3人
合計	3人		4人		7人

2. 事業の概要

(1) 当該年度の事業の概要

平成22年度における当学園を取り巻く状況は、平成21年度と同様、少子化により高坂幼稚園において定員の確保が出来ず、非常に厳しいものとなりました。

このような状況の下、よりよい教育環境の中で、健康であたたかい心豊かな人間性を培うことを教育目標として、以下のような点に重点を置き、幼児教育の充実に努力してまいりました。

- ・ 健康の増進
- ・ 明朗な性格の伸長
- ・ 感謝の心の涵養

(2) 当該年度の主な事業の目的・計画及び進捗状況

- ・ 教育目標を達成するため、高坂幼稚園内に設置するプールにおいて水泳を中心とした体育指導に重点を置き、高坂幼稚園においては10月10日に、香久山幼稚園においては10月9日に運動会を開催しました。
園児の感性をのばすとともに、表現力を養うことを目的として日頃から製作している作品を発表するため、高坂幼稚園においては11月13日に、香久山幼稚園においては2月19日に作品展を開催しました。また、発表会を高坂幼稚園においては2月17、18日、香久山幼稚園においては11月20日に開催しました。
- ・ 施設の充実を図るため、高坂幼稚園においては、木のテラスのワックス塗りを行い、緑庭に通ずる脇の植木囲いのレンガ修理を行い、全教室の天窓（ステンドグラス）の取り替え（平成22年3月より継続工事）を完了しました。金属製の大型アスレチック遊具「ビッグツリー」を設置を完了させ、4月14日より使用開始としました。南側園庭フェンスの改装、園玄関にカードリーダーの設置工事を行いました。
また、インフルエンザ予防など園児の健康の観点から、名古屋市よりの借り受け補助で全ての教室に空気清浄・除湿機器（4台）を遊戯室に設置しました。地上デジタル放送に伴い、全教室に地上デジタル放送対応のテレビを設置しました。
- ・ 香久山幼稚園においては、平成23年度より幼保連携型の認定こども園となるために、学校法人の0歳児から2歳児の保育園の設置に伴い、香久山保育園の新築工事を10月1日から3月20日までの間で行いました。また、香久山幼稚園遊戯室増築工事を10月28日から3月20日までの間で行いました。それに伴い、地上デジタル放送対応のテレビの設置等の備品の充実をおこないました。

3. 財務の概要

(1) 最近3カ年の主な財務指標の推移

(単位：千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
<資金収支計算書>			
納付金収入	184,777	183,035	179,924
補助金収入	134,288	148,567	209,943
事業収入	22,398	21,953	22,581
その他収入等	280,879	127,098	337,182
収入合計	622,342	480,653	749,630
人件費支出	196,431	201,882	211,574
経費支出	95,167	84,987	90,817
資産取得支出	163,844	16,192	253,262
その他支出等	166,900	177,592	193,977
支出合計	622,342	480,653	749,630
<消費収支計算書>			
帰属収入	355,277	367,124	459,360
基本金組入額	51,684	50,438	114,226
収入合計	303,593	316,686	345,134
減価償却額	20,676	23,732	25,931
当年度収支差額	14,611	343	15,032
<貸借対照表>			
固定資産	1,232,772	1,225,721	1,318,176
流動資産	51,083	54,202	203,398
資産合計	1,283,855	1,279,923	1,521,574
固定負債	272,804	237,138	254,608
流動負債	78,374	59,327	184,314
基本金	1,307,166	1,357,604	1,471,830
次年度繰越収支差額	374,489	374,146	389,178
負債及び基本金等合計	1,283,855	1,279,923	1,521,574

(2) 当該年度の財務の状況

<当該年度の収支の状況>

納付金収入が179,924千円、補助金収入が209,943千円、事業収入が22,581千円、その他収入が337,182千円であり、収入合計は749,630千円となりました。一方、支出面では人件費支出が211,574千円、経費支出が90,817千円、資産の取得支出が253,262千円、その他支出が193,977千円となり、合計749,630千円となりました。資産取得支出のうち、主なものは園舎等増築工事にかかる227,450千円です。これにより、次年度繰越支払資金は107,445千円となりました。

<当該年度末の財政状態>

流動資産のうち主なものは、現金預金107,445千円であり、固定資産のうち主なものは、土地593,957千円、建物640,605千円です。

<貸借対照表>

固定資産 1,318,175 千円は、主に土地 597,957 千円、建物 640,604 千円、流動資産 203,398 千円は、主に現金預金 107,445 千円で、資産合計は 1,521,574 千円であります。

固定負債 254,608 千円は長期借入金と退職給与引当金であり、流動負債 184,314 千円とあわせて負債合計は 438,922 千円であります。基本金は 1,445,430 千円で主に第 1 号基本金であります。翌年度繰越消費支出超過額は 389,178 千円であります。